

保存版

原子力防災これだけは!

このリーフレットは、市からお配りしている「原子力災害発生時の地区別避難計画パンフレット」を要約したものです。地区別避難計画パンフレットをお持ちでない方は、松江市ホームページをご覧ください。ただ、市原子力安全対策課又は最寄りの支所・公民館(旧市内)にお問い合わせください。

【お問い合わせ】市原子力安全対策課 ☎55-5616 松江市ホームページは で検索



1 国や県、市からの正しい情報を得ましょう。指示に従いましょう。

災害情報は、様々な手段でお知らせします。情報を得る手段を日ごろから備えましょう。



これだけはポイント!

- 放射線は五感に感じないので、身を守る行動について自分で判断できません。自治体から出される情報や指示に従い、落ち着いて行動しましょう。
- ウワサやデマに惑わされないように!
- 不要不急の外出や連絡はさげましょう。

松江市防災メールに登録しましょう

(二次元コードを読み取って空メールを送信)



情報の流れ



2 地区により対応が違います。自分の地区を確認しましょう。

ピー・エー・ゼット

PAZ … 原発から約5km圏内の地域

原発からの距離が近く、放射線による健康影響が大きいため、放射性物質が放出される前に、**あらかじめ避難**します。

- 鹿島町の全域 ●島根町の一部(大芦)
 - 生馬地区の一部(上佐陀町、下佐陀町、西生馬町)
 - 古江地区の一部(古志町、西谷町、荘成町、西長江町・東長江町の一部※)
- ※市道古志大野線より北側

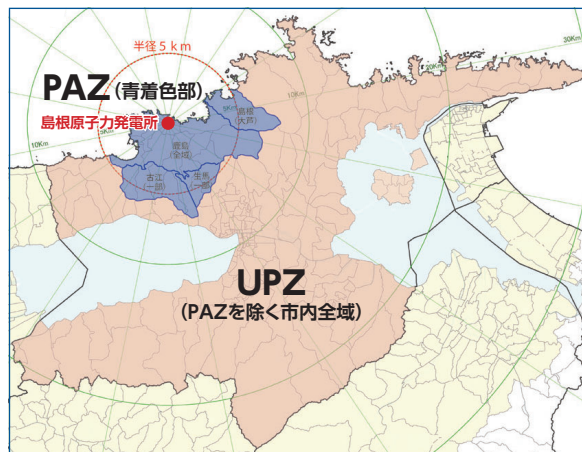
ユー・ピー・ゼット

UPZ … 原発から約5~30km圏内の地域

屋内退避をします。放射性物質が放出後、国が定める放射線量の基準を超えた地区は、地区ごとに避難します。

PAZ内地区を除く市内全域

島根2号機の原子力災害対策重点区域(PAZとUPZ)

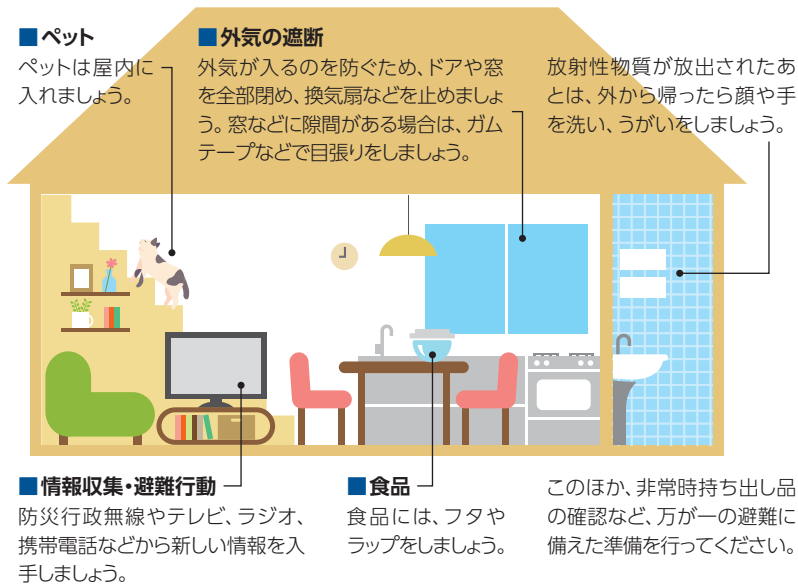


PAZ・UPZ各区域での行動の基本的な流れ

発電所の状況	緊急事態区分	PAZの基本的な流れ	UPZの基本的な流れ
重大事故につながるような事象が発生	警戒事態	市から発電所事故の警戒情報 ●帰宅する ●幼保・小・中学校の子どもを迎え ●施設敷地緊急事態要避難者※は避難準備 など ※搬送手段・受入体制を準備したうえで避難しないと健康リスクが高まる方	市から発電所事故の警戒情報
原子炉の損傷に至る可能性がある事態に発展	施設敷地緊急事態	市から避難準備情報 ●施設敷地緊急事態要避難者は避難開始 ●避難の準備 など	市から屋内退避準備情報 ●帰宅し、屋内退避の準備 ●幼保・小・中学校の子どもを迎え など
原子炉の損傷に至る可能性が高い事態に発展	全面緊急事態 (原子力緊急事態宣言)	市から避難指示 避難開始	市から屋内退避指示 自宅などで屋内退避する
放射性物質放出			地区により避難・屋内退避継続指示 ●避難指示地区は避難開始 ●避難指示地区以外は屋内退避継続

3 屋内退避の指示が出たら？

屋内退避の指示が出たら、以下の絵に示すことに気をつけながら屋内退避をしましょう。



👉これだけはポイント!

- 放射性物質の体への付着や体内への取り込みを防ぎ、放射線から身を守るため、屋内退避(さえぎる)や避難(距離を取る)といった方法があります。
- 一斉に避難を開始すれば、渋滞が発生し、交通事故が多発したり、屋外に長時間いることでかえって被ばくの量が多くなります。
- また、車両の中は建物の中よりも放射線をさえぎる効果が小さいです。
- 屋内退避により、吸入する被ばく量を木造家屋で4分の1程度、コンクリート建物で20分の1程度にできると言われています。

※感染症が流行している状況での屋内退避は、放射性物質による被ばくを避けることを優先し、屋内退避指示が出されている間は原則換気を行いません。

4 避難の指示が出たら？

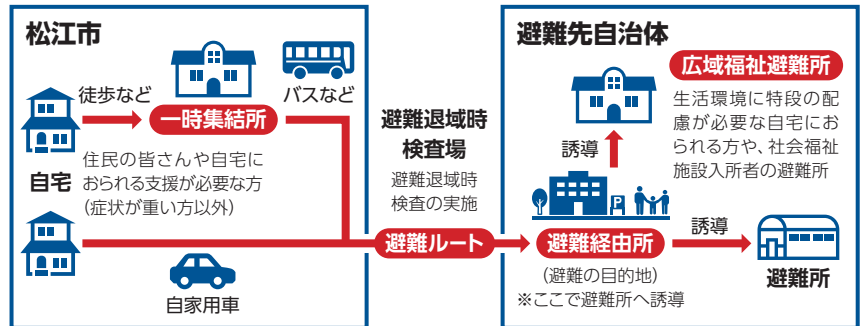
市からの指示により避難を開始します

避難先は地区ごとに設定しています。詳しくは地区別パンフレットをご覧ください。

原則、**自家用車で避難**します。
ただし、自家用車で避難が難しい方は、行政が用意した**バスで避難**します。

👉これだけはポイント!

- 指示が出てから避難しましょう。
- 指示や誘導に従って行動しましょう。
- 隣近所の方への声掛け、相乗りをしよう。



お住いの地区の避難先市町・避難経由所、最寄りの一時集結所

避難先市町
 避難経由所
 一時集結所

※ご自分の避難先市町・避難経由所、最寄りの一時集結所を確認して記入しましょう。

5 日ごろからの備えを確認しましょう

原子力災害に限らず、自然災害のときと同様に非常持出し品や備蓄品を用意しましょう。

地区別パンフレットや防災ガイドブックに「非常持出し品チェックリスト」を備えていますので活用ください。

👉これだけはポイント!

- 原子力災害時は、放射性物質の付着や吸入を防ぐための物も用意しましょう。
 - マスク 帽子 長そで・長ズボン
 - 雨具 安定ヨウ素剤 (PAZの対象者)
- バスで避難する方の荷物は、男性は15kg程度、女性は10kg程度を目安に準備しましょう。
- 自家用車で避難する方は、日ごろからガソリンの残量が燃料タンクの半分になったら給油しておきましょう。

<input type="checkbox"/> 貴重品 現金・通帳・印鑑 健康保険証など	<input type="checkbox"/> 非常食品 水・非常食など	<input type="checkbox"/> 日常必需品 常備薬・お薬手帳 絆創膏・歯ブラシなど
<input type="checkbox"/> 情報収集品 充電器や電池も忘れずに	<input type="checkbox"/> 乳児用品など ミルク・おむつなど 必要に応じて	<input type="checkbox"/> 感染症対策品 マスク・消毒液・体温計など

→ これらが揃っていますか?

やり方: 緊急速報(エリア)メールや防災メールが届いて屋内退避指示を確認したらスタートです!

- ① 建物の中に入りましょう。
- ② チェックリストに従って外気を遮断したり、非常用持ち出し袋の確認をしましょう。
- ③ ご家庭ごとの該当項目について、チェック出来たら屋内退避訓練の完了です。

☑ 屋内退避チェックリスト

- | | |
|--|---|
| <input type="checkbox"/> あわてないで建物の中に入る。 | <input type="checkbox"/> テレビやラジオ、防災メール等から発信される情報入手する。 |
| <input type="checkbox"/> 外から帰ってきたら手洗いうがいをする。 | <input type="checkbox"/> 窓などに隙間がないか確認する。ある場合はガムテープなどで目張りする。
(今回の訓練では不要です。) |
| <input type="checkbox"/> 外気が入らないようにドアや窓を閉める。 | <input type="checkbox"/> 避難に備え、非常時持ち出し品を準備する。
(確認する。) |
| <input type="checkbox"/> 換気扇など外気を取り込む設備を止める。 | <input type="checkbox"/> ペットは屋内に入れる。 |
| <input type="checkbox"/> 食品はフタやラップをして、冷蔵庫や戸棚に保管する。 | |

※感染症が流行している状況において自宅等で屋内退避を行う場合には、放射性物質による被ばくを避けることを優先し、屋内退避指示が出されている間は原則換気を行いません。

屋内退避のここがギモン

● 屋内退避するより早く遠くに逃げた方がいいのでは?

車両を利用して避難した場合には**屋内退避よりも遮へい(放射線をさえぎる)効果は小さくなります**。また、渋滞などにより避難に時間がかかると、**かえって被ばく量が増えてしまう恐れ**があるので、屋内退避が有効です。国、県、市からの指示をよくきいて、落ち着いて行動しましょう。

● 古い木造住宅に住んでいて隙間だらけです。屋内退避に意味はあるのでしょうか?

屋内退避することで吸入による内部被ばくを、**木造家屋においては4分の1程度、気密性の高いコンクリート建屋のような施設においては20分の1程度に抑えることができる**と言われています。隙間はできるだけふさぐようにして、外気を取り込まないようにしましょう。ドアや窓を閉める、窓から離れて過ごすなどの工夫をすることが被ばく量を減らすことにつながります。

アンケートにご協力ください

チェックリストに従って屋内退避してみてどうでしたか?

市では今回の屋内退避訓練についてアンケート調査を実施します。屋内退避している間などに、右の二次元コードをスマートフォンで読み取って、しまね電子申請サービスにアクセスしてみてください。回答は1~2分で完了します。(回答期間:10月31日~11月14日)

